



双高だより

2月号(2010)

福島県立双葉高等学校

Tel0240-33-2131 Fax0240-33-2378

http://www.futaba-h.fks.ed.jp/

<進路状況>

2月は受験シーズン本番です。1月中旬のセンター試験を経て、私大や国公立大入試が始まりました。就職希望者も予想通りの厳しい状況の中、内定獲得に向けて努力を重ねてきました。以下、2月上旬における進路状況をお知らせします。

就職関係では、求人数が昨年度の約半数、内定率が81.6%(1月末現在)という県内の状況の中、双高生は就職希望者27名のうち、23名が内定を勝ち取り、内定率は85%となっています(2月上旬現在)。進学関係では、国立大学が9名(山形大学3・福島大学1・茨城大学3・宇都宮大学1・静岡大学1)、3名が公立大学(福島県立医科大学1・会津大学2)に合格しています。その他、私立大学に50名、私立短大に7名、各種専門学校に38名が合格しています(2月上旬現在)。

双高では生徒の進路希望実現のために、放課後、就職や推薦入試希望者に模擬面接を実施しました。希望者には何度でも繰り返し行い、必要な生徒や希望する生徒には何度でも練習して面接に対する苦手意識を克服しました。小論文試験を受験する生徒には、進路希望の専門性に合わせて各教科の教師が担当になり、何度も添削指導を繰り返し、個々のレベルアップに努めています。



一般受験の生徒も、通常の授業はもちろんのこと、放課後の課外授業や冬休み中の冬季講習を受講し、苦手項目を洗い出して克服するなど、最後の追い込みを図っています。個々の力を

十分に発揮するためには体調管理も重要です。努力が実って納得できる結果を勝ち取り、よい春を迎えて欲しいものです。

<学校行事>

体育祭

9月25日に体育祭が開催されました。体育祭実行委員長の根本貴弘君(広野中出身)を中心に生徒は「鬼ごっこ」「障害物競走」「騎馬戦」などの種目に精一杯取り組みました。特に下の写真左の「棒とり」では、女子生徒同士の容赦のない棒の奪い合いで悲鳴が響き渡り、写真右の部活動対抗リレーでは、各部がユニークな姿で登場し、観衆の笑いを誘いました。

生徒会誕生



昨年10月に生徒会選挙が行われ、会長1名・副会長2名が

選出されました。その結果、新会長には佐藤亮太君(双葉中出身 写真中央)、副会長に猪狩国大君(富岡一中出身 写真左)と猪狩奈々さん(楡葉中出身 写真右)が就任しました。新会長があいさつの中で発言したとおり「全校生徒の協力」によって、更に活気のある双高にしてくれるものと思います。



修学旅行

2学年は1月22日～25日の日程で沖縄への修学旅行を実施しました。平和祈念公園を訪れ、ひめゆりの塔では、反戦・平和の願いを込め、2年生全員で作成した千羽鶴と誓いの言葉をささげました。また、沖縄戦で防空壕として利用されたガマ

(洞窟)を見学し、戦争の悲惨さを感じ、首里城では歴史を学び、嘉手納基地で沖縄が抱える課題を認識しました。美ら海水族館の他、班別研修でカヌー体験やビーチ、パイナップル園などを通じて、沖縄の自然を体験しました。これらの研修や宿舎での友人との関わりは、生徒の世界観を広げ、思い出深いものとなりました。



<部活動の活躍>

双高生の部活動の活躍は、2学期もめざましいものでした。

FHJ(猪狩奈緒会長 浪江中出身)は山形市で開催された家庭クラブの東北ブロック発表大会において、最優秀賞を受賞し、来年度福岡県で開催される全国大会に駒を進めました。



陸上部の石川慎也君(浪江中出身)は、新人戦の三段跳びで県大会優勝、山形県での東北大会に出場し8位に入賞しました。



吹奏楽部(半谷麻美部長 小高中出身)は県大会で金賞を受賞し、昨年度に引き続き出場した東北大会で銀賞を受賞しました。



柔道部の横田晃大君(大熊中出身)は、高校選手権の県大会で男子個人81kg級3位となり、東北大会出場権を獲得しました。

